

法友 *For You* 2023. 1 No.61

【発行】(公社)伊勢法人会 女性部会広報委員会  
〒516-0037 三重県伊勢市岩渕1丁目7-17  
伊勢商工会議所5階  
TEL 0596-28-5665 FAX 0596-24-8315



外宮末社の打懸神社は伊勢市辻久留にあり、志等美神社・大河内神社と一カ所に鎮座している。  
写真奥に大河内神社が見えている。



部会長  
伊藤 由美子

謹んで新年のお祝いを申し上げます。

昨年コロナ収束のなか見えない状況の中、事業実施の判断を迫られる苦慮の日々に何度も襲われました。念入りに計画と準備を積み上げた夏休み親子映画会や、研修旅行を、またしても、中止せざるを得ませんでした。

一方、次世代を担う子どもたちに向けての小学校での租税教室の実施は、年度の早い時期より取り組むこととなり、その成果は、税に関する絵はがきコンクールに応募数に反映され、予想以上に多く寄せられた小学生の作品は、税の大切さを巧みに表現し、どれも甲乙つけがたいものでした。全応募作品は、多くの人が行き交う場所に展示し、また作品を掲載したカレンダー

ーを、記念品として受賞者にお渡ししたり、小学校に掲示させていただいたり、できうる限りの範囲で税の啓発活動を行いました。

税の知識を自社に生かす、グループ別税務研修会も、なくてはならない事業として、最善を尽くして行うことができました。これらの事業を行う力の源は、部会員の皆様同士の繋がりの賜物と感じております。また、親会の皆様、税務当局の皆様のご協力に、心より感謝申し上げます。

伊勢法人会女性部会は、コロナと共存しながらも、新しい未来に向かって、新しい発想で、地域への貢献活動として税の啓発に取り組んでまいりたいと思っております。本年もよろしくご指導、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

皆様のご健勝とご多幸、そして企業の繁栄、地域社会の発展をご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

# 税金展

令和4年11月6日  
於：伊勢シテイプラザ

十一月六日(日)、いせシテイプラザに於いて税金展が開催され、「税に関する作品合同表彰式」が行われました。

今年もコロナの感染防止対策のため、入賞者とその保護者一名のみの参加とされた中、各団体より十七名とその保護者あわせて三十四名の方々に出席頂きました。税に関する絵はがきコンクールの入賞者には正田伊勢税務署長、伊藤部会長より表彰状を贈呈後、国税庁のマスクottoキャラクターの「イータ君」を交え、三人で記念写真を撮影させて頂きました。今年度、新たな試みで、絵はがきの受賞作品で卓上カレンダーを作成し、記念としてお渡ししました。この日は「伊勢楽市」が開催されましたので、一階の作品展示ブースには、昨年よりも沢山の方が来られて、賑わっていました。また、今回は、税金展を主催されている、伊勢税務連絡協議会による「税金クイズ」が実施されました。

この様に、コロナ感染防止対策とあわせて、様々な活動が開始され、以前のような賑わいが戻ることを期待できそうな予感がして、嬉しく思いました。

なお、税金展にて展示後、ぎゅーとらハイジ1店と鳥羽一番街にて展示させて頂きました。



# 時の人



伊勢税務署  
法人課税第一部門統括官  
山吉 浩 氏

「玄関を上がるときにきちんと靴を揃える暴走族はおらんやろ。」とアドバイスいただいたものです。これを実践したところ、みんな素直に育ってくれました。

近頃は税務署も二十代の若手職員が増えてきており、自分の子供と年齢の変わらない職員と仕事していますので時の流れを感じます。

★職場での職員育成という面で心掛けていることはありますか。

「とにかく多く経験させる。」ということと「待つこと」を心掛けています。税務署の業務は電話や来署による質問などの対応や税務調査など、人と会話をしてコミュニケーションをとるということが重要になってきます。そのため、若手職員には多くの業種業態の調査を経験できるように心掛けていますし、調査においては黙って帳簿と帳票類の突合に終始することなく、話をしながら進めるよう指導しています。また、経験の浅い職員に担当させた仕事については、思うように進んでいなくても、すぐに答えを教えるのではなく、考えさせるようにしています。短期的には時間がかかるかもしれませんが、結果的には能力が伸びると思うので伸びしろに期待して我慢します。

★伊勢に來られる前のお仕事をお聞かせください。

「観光の街」という印象です。私は三重県出身なので子供のころから伊勢神宮や鳥羽水族館など何度か観光に来ていました。伊勢税務署に勤務することになり、毎日、伊勢市駅から歩いていますが、ゴ

ミが落ちていなくてもなく美しい参道を気持ちよく歩いています。さすが、伊勢神宮に代表される歴史と文化、観光の街だなと思います。

★伊勢に來られる前のお仕事を聞かせください。

伊勢署の前任は松阪税務署の法人課税部門統括官でした。調査や内部事務などの仕事を中心でしたが、松阪法人会の皆さんと行事や研修会など、コロナ禍の中で開催するにはどうしたら良いか、工夫しながら考えていたことが印象に残っています。

★趣味をお聞かせください。

趣味はスポーツ観戦です。プロ野球やJリーグなどのプロスポーツも観戦していますが、高校野球やインターハイなど学生スポーツも好きです。中学時代に部活動で陸上競技を経験したこともあり駅伝やトラック競技などテレビ中継などで観戦しています。夏はインターハイや全国中学、秋から冬にかけては駅伝やマラソンを観戦しています。八月に小俣中学がリレーで全国優勝したレースは感動しました。

★座右の銘をお聞かせください。

「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」です。税務調査では様々な業種業態の会社に伺います。調査で対応していたく方々は皆さんプロフェッショナルで業界用語など知らないことばかりです。そのようなときに「知ったかぶり」をしていては、見えるものが見えなくなったりして調査が上手く進まなくなってしまうと思います。ですから

「私、このことについては素人なので詳しく教えてください。」と素直に言えるように心掛けています。

★心がけておられることをお聞かせください。

ありきたりですが「健康」です。まず健康でないと仕事も趣味も中途半端になってしまえば楽しくありませんから。

★印象深い仕事・勤務地をお聞かせください。

印象深いのは、国税局の課税第二部資料調査課で主査という役職で従事した仕事です。この部署は、複雑・困難・広域・複数税目等の観点から問題のある法人に対して、税務署の職員と合同で法人税等の調査をする部署です。事前通知なしに調査に着手することがあり、局員・署員あわせて四十人くらいで着手した事案の責任者になった際は緊張しました。調査に参加した皆の協力があって無事に終了した際の達成感は格別でした。

★今後の女性部会に一言お願い致します。

平素から税務広報や租税教育などの活動に多大なご協力をいただいております。特に租税教室や税に関する絵はがきコンクールなど、租税教育に熱心に取り組んでいただいております。コロナ禍の影響により、夏休み親子映画会など準備を進めても直前で中止をせざるを得なくなってしまうこともあります。引き続き素晴らしい活動を行っていただきませうようお願いいたします。

## グループ別 税務研修会に向けて

令和4年11月14日  
於：伊勢商工会議所

十一月十四日(月)役員会終了後、伊勢税務署法人課税第一部門統括国税調査官山吉様、法人課税第一部門上席国税調査官柳瀬様を講師にお迎えして、十二月五日(月)のグループ別税務研修会に向けての勉強会を行いました。コロナ禍も三年目。昨年同様、感染対策を徹底したグループ別税務研修会を成功させるために主に座長を担当される方への討議の進め方や意見の引き出し方等をご指導いただきました。



第12回

税に関する

絵はがき

コンクール

令和4年7月～9月30日

昨年より女性部会主催で実施しております「税に関する絵はがきコンクール」開催にあたり、今年も伊勢市二十二校、鳥羽市七校、志摩市七校、玉城町四校、度会町一校に参加のお願いに訪問させて頂きました。大紀町の四校と南伊勢町の三校につきましては郵送で失礼いたしました。昨年に倣い、絵はがきコンクール前に、租税教室で訪問して、参加を促す計画を実行し、今年度は修道小学校の六年六十二名と、上野小学校六年十二名の児童にご参加頂きました。二校の担任の先生方が、意欲的に取り組んで下さり、応募がスムーズに運べた事に感謝しております。今回は、直接担当の担任とお会いして、説明させていただけたことで、意思疎通を図れたのかも知れません。他にも締め切りギリギリまで取り組んで下



最優秀賞

伊勢市立浜郷小学校 6年 石井羽奏



卓上カレンダー



学校賞  
志摩市立  
浜島小学校



南勢志摩  
租税教育推進協議会長賞  
伊勢市立御園小学校 4年  
藤川 蒼大



伊勢市立有緒小学校 6年  
山口 優亜



伊勢市立浜郷小学校 6年  
川端 翔馬



伊勢市立厚生小学校 6年  
宮間 琉衣



伊勢市立小俣小学校 6年  
石熊 莉鶴



度会町立度会小学校 6年  
大西 真衣

絵はがき審査会

令和4年10月3日 於：伊勢商工会議所



さり、事務局までお持ち頂いた学校もございました。最後の応募数は十七校五六二点で、昨年を上回る数となりました。

十月三日(月)の審査会にて、入賞七名、入選二十名と学校賞一校を決め、参加して頂いた学校に参加賞をお持ちしました。各賞該当者への表彰式への案内も配らせて頂き、十一月六日(日)の税金展にて表彰の運びとなりました。入賞・入選の方々に賞品と受賞作品で作ったポスタータイプのカレンダー、今年初の試みの卓上カレンダーを付けてさせて頂きました。応募して下さった作品一枚一枚の向こうに児童の顔があり、どの作品も生き生きしていました。そんな皆さんの作品を審査するのは、責任がありますが、一人一人と触れ合えた気になり、毎回とも有意義な審査会となっております。ご協力頂いた方々には感謝申し上げます。

今回応募して頂いた作品は、十一月七日(月)～十一月三十日(水)までぎゅーとらハイジーン店、十二月二日(金)～十二月十四日(水)まで鳥羽一番街にて展示致しました。



伊勢市立有福小学校6年  
上田 大雅



伊勢市立明倫小学校6年  
上田 優陽



伊勢市立みなと小学校6年  
曾根 星吾



伊勢市立浜郷小学校6年  
岩木 蒼太



伊勢市立浜郷小学校6年  
杉浦 花



伊勢市立浜郷小学校6年  
田村 みな



伊勢市立上野小学校6年  
道清 甫空



伊勢市立小俣小学校6年  
西村 ひまり



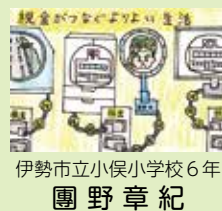
伊勢市立小俣小学校6年  
舟瀬 晴



伊勢市立小俣小学校6年  
服部 夏歩



伊勢市立小俣小学校6年  
杉本 麗



伊勢市立小俣小学校6年  
團野 章紀



伊勢市立明野小学校6年  
塚田 涼太郎



伊勢市立明野小学校6年  
小林 紗依



伊勢市立御園小学校6年  
橋本 莉呼



鳥羽市立加茂小学校6年  
稲垣 絆



志摩市立浜島小学校6年  
谷水 凜々花



志摩市立鵜方小学校4年  
北野 志心

(敬称略)

### 租税教室講師養成研修

九月五日

(月)、租税

教室講師養

成研修が行

われました。

十七名の

女性部会部

会員が参加

し、次回の

小学校での租税教室に向け

て、熱心に勉強しました。

その後、税務署長様から

委嘱状の交付をうけました。



令和4年9月5日(月)  
於：伊勢税務署

# 令和4年度 租税教室

6.23(木)	度会町立度会小学校
6.27(月)	伊勢市立修道小学校
9.21(水)	伊勢市立上野小学校

税金をはらわないといろんなことがこまってしまう。  
ポンプ車がめっちゃ高くてびっくりした。1億円はめっちゃおもかった。



度会小学校



度会小学校



度会小学校



修道小学校



修道小学校



修道小学校



修道小学校

税金には色々な種類があり、税金がなくなってしまうと、きゅうきゅう車を呼んだり、警察署で話を聞いてもらう事にすなお金がいることがわかったです。

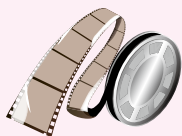
税金なんてなかったらいいのにと  
思っていたところもあったけどない  
ほうが逆にこまるというのがわかり  
ました。今日、学んだことを  
家族に話をしてみようと思います。



上野小学校



上野小学校



中止のお知らせと同封

映画会ポスター



新型コロナウイルス感染症  
第七波が急拡大している状況  
のため綿密に準備を進めてき  
た「夏休み親子映画会」を急  
遽中止致しました。

夏休み親子映画会  
開催中止



### はつらつ 新入部会員紹介

令和4年7月1日～11月30日

(敬称略)

- ① 会社のPR
- ② 趣味
- ③ ひょうご

#### 志摩支部

山本寛子

有限会社 和宏興産

① 有限会社和宏興産は株式会社山本建材の系列で主に土木建築工事の請負業をしています。土木工事の現場では資材運搬や機械を使った作業を行っています。

② 黒猫の「小鉄」に寝る前に今日の話をすることが毎日の日課です。主人が甲斐甲斐しくお世話をしていますが私にベツリです。

③ たくさんの人に助けてもらって、毎日を感謝して過ごしています。元気で明るく地域の役に立てる人になれるように日々精進していきたいと思っています！



#### 明倫支部

中西優佳

日本生命保険(相) 津支社 伊勢営業部

### 納税表彰式

令和4年11月15日

於：伊勢シティホテル

おめでとうございます

#### ★伊勢税務署長表彰

株式会社 三重軸装

杉山 翠



#### ★伊勢税務推進協議会長

表彰

鳥羽観光会館ビル株式会社

原田 佳代子



(敬称略)

### 第29回 情報交換会

令和4年11月1日 於：都ホテル四日市

四年ぶりの開催となった「情報交換会」が三重県法人会連合会 宮崎由至会長の力強いご挨拶で始まりました。

第一部は、四日市法人会女性部会の「未来を担う子どもたちへ」コロナ禍の楽しい租税教育」というテーマでの発表で、工夫を凝らした租税教室の様子が大変勉強になりました。

第二部は、俳優・ナレーター・映画監督で四日市出身の高川裕也氏の講演で、カンブリア宮殿のナレーターで出会われた女性経営者たちの理念や信条を、興味深く聞かせていただきました。その後の着席での懇談会では、他部会の方々との交流を深める事が出来ました。

リモートやオンラインでは味わう事のできない臨場感、高揚感の中、一堂に会する事が出来るありがたさに感謝しつつ、いろいろなパワーを頂ける1日となりました。



写真撮影時はマスクを外しております

### 会員募集中

伊勢法人会女性部会員を募集しています。

女性部会へ参加して税の知識を深めて、

色んな場面に役立てましょう。

詳しくは、事務局までお問合せ下さい。

令和4年11月22日

### バス研修



諸般の事情により中止となりました。

# 太神宮 あちこち

第16回

## 打懸神社

神宮禰宜 石垣 仁久

伊勢市辻久留に鎮座する豊受大神宮末社打懸神社は、志等美神社と大河内神社と同じ敷地に鎮座しています。

打懸神社は、『延喜式』に記載が無いので、撰社ではなく末社となっています。『止由気宮儀式帳』に未載官帳社八社のひとつとして「打懸社」と見えます。未載官帳社とは、公的な神社リストに未記載していない神社という意味です。未載官帳社は社殿の建て替えに公費が支出されないで、神社を管理する祝が造り奉っていたと『儀式帳』は記しています。

また、『類聚神祇本源』に引用された「御竈木帳四十七前神社」の一つに、「撫懸社」とあるのが当社と思われる。これは、恐らく忌詞の一種で、「打つ」ということが神宮内では忌み嫌われて「撫つ」に言い換えられたものと考えられることができます。

同じく『類聚神祇本源』に引用された長徳三年（九九七）

「検録文」には、打懸社のところに立石大明神と注記があり、また同書「長徳三年八月田社三十三前」に、「従四位下立石大明神、山幡村大河内社東」とあるので、十世紀末の長徳三年には、現在のよう

に大河内神社の東に位置していたことがわかります。

田社とは、ミタノヤシロと読み、『儀式帳』が言う未載官帳社の事です。社殿が壊れた時に、官費ではなく、その神社に付属する田の税で修繕したことから田社と称されたのです。

更に同書「志止見打懸大河内社増位事」に、この三社は、度会河（宮川）の堤防守護のため位階を増進されるよう朝廷に上奏したところ、大治三年（一一二八）次の勅書を奉られたと記されています。

正五位下志止見名神に勅す

今従四位下を授け奉る

大治三年六月十日

正五位下打懸名神に勅す

今従四位下を授け奉る

大治三年六月十日

正五位下打懸名神に勅す

今従四位下を授け奉る

大治三年六月十日

正五位下打懸名神に勅す

今従四位下を授け奉る

大治三年六月十日

正五位下打懸名神に勅す

今従四位下を授け奉る

大治三年六月十日

正五位下打懸名神に勅す

今従四位下を授け奉る

大治三年六月十日

正五位下打懸名神に勅す

今従四位下を授け奉る

大治三年六月十日

正五位下打懸名神に勅す

今従四位下を授け奉る

今従四位下を授け奉る

大治三年六月十日

正五位下大河内名神に勅す

今従四位下を授け奉る

大治三年六月十日

正五位下大河内名神に勅す

今従四位下を授け奉る

大治三年六月十日

正五位下大河内名神に勅す

今従四位下を授け奉る

大治三年六月十日

正五位下大河内名神に勅す

今従四位下を授け奉る

大治三年六月十日

正五位下大河内名神に勅す

今従四位下を授け奉る

大治三年六月十日

正五位下大河内名神に勅す

今従四位下を授け奉る

大治三年六月十日

正五位下大河内名神に勅す

今従四位下を授け奉る

大治三年六月十日

正五位下大河内名神に勅す

今従四位下を授け奉る

大治三年六月十日

正五位下大河内名神に勅す

今従四位下を授け奉る

大治三年六月十日

るべきでしょう。

また、先に紹介しました長徳三年の「田社三十三前」に従四位下と注記がありますので、その注記は長徳三年ではなく、少なくとも位階を授かったとされる一世紀後の大治三年以降の書き入れであることが判ります。

このように、打懸神社は様々な史料が示すように、立石大明神と呼ばれていたのですが、実は両宮の撰末社で大明神と称するのは珍しいことなのです。なぜなら、大明神という称号が使われるようになるのは、十世紀から十一世紀のことで、神仏習合の影響によるものです。

神宮で大明神号を用いないのは、祭祀体系が厳格に確立していたため他所の影響を受けにくく、加えて神仏習合も受容しなかったからです。

立石というのは、直立している自然石のことと思われる。筆者は立石が宮川の渡河地点を示す岩だろうと考えています。いかに流れが激しい川でも、必ず流れがゆるやかな地点、または浅瀬となる地

点があるものです。そのような場所が官道（今の国道）の渡河地点とされ、目印が設置されていたはずですが、

大水で地形が変わっても、自然の流れは再び土砂を運び、蛇行をしながら、やがて元の流れを復元して行きます。その時に渡河地点を記憶しているのが、特徴的な姿の岩の類だったのでないでしょうか。

打懸けるとは、川水が打ちかかるような岩に、渡河のために綱を打ち懸けたのかもしれない。

現在、辻久留周辺で立石という名称は見当たりません。また、山幡村という村も所在不明です。山幡は「山の端」という意味とすれば、現在の天神山か徳川山かのいずれかと考えられ、村名が消えたという事は、村そのものが大水で流されて存在し得なくなつたと見るべきでしょう。

これらを考えて導き出されることは、立石大明神があったとされる山幡村は流失し、立石は現在の宮川の河床に横たわっているかもしれないということです。

このような守良神主の見解も尤もですが、大治三年には田社であった土御祖神社が度会河堤守護のため別宮土宮に昇格していることも併せて考え

この例がない。それなのに外宮が書いたものには、何か良いことがあれば「我が先祖のことである」と附会するために言っているの、全国の神社が位を授かっているのを羨ましく思い、外宮の撰社にも昔位を授かったことがあるなどと、偽の勅書を作ったことは、実にあさましい人の心があらわれている。

このような守良神主の見解も尤もですが、大治三年には田社であった土御祖神社が度会河堤守護のため別宮土宮に昇格していることも併せて考え

この例がない。それなのに外宮が書いたものには、何か良いことがあれば「我が先祖のことである」と附会するために言っているの、全国の神社が位を授かっているのを羨ましく思い、外宮の撰社にも昔位を授かったことがあるなどと、偽の勅書を作ったことは、実にあさましい人の心があらわれている。

この例がない。それなのに外宮が書いたものには、何か良いことがあれば「我が先祖のことである」と附会するために言っているの、全国の神社が位を授かっているのを羨ましく思い、外宮の撰社にも昔位を授かったことがあるなどと、偽の勅書を作ったことは、実にあさましい人の心があらわれている。

この例がない。それなのに外宮が書いたものには、何か良いことがあれば「我が先祖のことである」と附会するために言っているの、全国の神社が位を授かっているのを羨ましく思い、外宮の撰社にも昔位を授かったことがあるなどと、偽の勅書を作ったことは、実にあさましい人の心があらわれている。

この例がない。それなのに外宮が書いたものには、何か良いことがあれば「我が先祖のことである」と附会するために言っているの、全国の神社が位を授かっているのを羨ましく思い、外宮の撰社にも昔位を授かったことがあるなどと、偽の勅書を作ったことは、実にあさましい人の心があらわれている。

この例がない。それなのに外宮が書いたものには、何か良いことがあれば「我が先祖のことである」と附会するために言っているの、全国の神社が位を授かっているのを羨ましく思い、外宮の撰社にも昔位を授かったことがあるなどと、偽の勅書を作ったことは、実にあさましい人の心があらわれている。

この例がない。それなのに外宮が書いたものには、何か良いことがあれば「我が先祖のことである」と附会するために言っているの、全国の神社が位を授かっているのを羨ましく思い、外宮の撰社にも昔位を授かったことがあるなどと、偽の勅書を作ったことは、実にあさましい人の心があらわれている。

この例がない。それなのに外宮が書いたものには、何か良いことがあれば「我が先祖のことである」と附会するために言っているの、全国の神社が位を授かっているのを羨ましく思い、外宮の撰社にも昔位を授かったことがあるなどと、偽の勅書を作ったことは、実にあさましい人の心があらわれている。

この例がない。それなのに外宮が書いたものには、何か良いことがあれば「我が先祖のことである」と附会するために言っているの、全国の神社が位を授かっているのを羨ましく思い、外宮の撰社にも昔位を授かったことがあるなどと、偽の勅書を作ったことは、実にあさましい人の心があらわれている。

この例がない。それなのに外宮が書いたものには、何か良いことがあれば「我が先祖のことである」と附会するために言っているの、全国の神社が位を授かっているのを羨ましく思い、外宮の撰社にも昔位を授かったことがあるなどと、偽の勅書を作ったことは、実にあさましい人の心があらわれている。

この例がない。それなのに外宮が書いたものには、何か良いことがあれば「我が先祖のことである」と附会するために言っているの、全国の神社が位を授かっているのを羨ましく思い、外宮の撰社にも昔位を授かったことがあるなどと、偽の勅書を作ったことは、実にあさましい人の心があらわれている。

この例がない。それなのに外宮が書いたものには、何か良いことがあれば「我が先祖のことである」と附会するために言っているの、全国の神社が位を授かっているのを羨ましく思い、外宮の撰社にも昔位を授かったことがあるなどと、偽の勅書を作ったことは、実にあさましい人の心があらわれている。

この例がない。それなのに外宮が書いたものには、何か良いことがあれば「我が先祖のことである」と附会するために言っているの、全国の神社が位を授かっているのを羨ましく思い、外宮の撰社にも昔位を授かったことがあるなどと、偽の勅書を作ったことは、実にあさましい人の心があらわれている。

この例がない。それなのに外宮が書いたものには、何か良いことがあれば「我が先祖のことである」と附会するために言っているの、全国の神社が位を授かっているのを羨ましく思い、外宮の撰社にも昔位を授かったことがあるなどと、偽の勅書を作ったことは、実にあさましい人の心があらわれている。

この例がない。それなのに外宮が書いたものには、何か良いことがあれば「我が先祖のことである」と附会するために言っているの、全国の神社が位を授かっているのを羨ましく思い、外宮の撰社にも昔位を授かったことがあるなどと、偽の勅書を作ったことは、実にあさましい人の心があらわれている。

この例がない。それなのに外宮が書いたものには、何か良いことがあれば「我が先祖のことである」と附会するために言っているの、全国の神社が位を授かっているのを羨ましく思い、外宮の撰社にも昔位を授かったことがあるなどと、偽の勅書を作ったことは、実にあさましい人の心があらわれている。

この例がない。それなのに外宮が書いたものには、何か良いことがあれば「我が先祖のことである」と附会するために言っているの、全国の神社が位を授かっているのを羨ましく思い、外宮の撰社にも昔位を授かったことがあるなどと、偽の勅書を作ったことは、実にあさましい人の心があらわれている。